

## エコシップマーク認定制度

フェリー事業者やRORO船、コンテナ船及び自動車船事業者が参加する「エコシップ・モーダルシフト事業実行委員会」において、**海上貨物輸送を一定水準以上利用してCO2削減に取り組んだ荷主・物流事業者を「エコシップマーク認定事業者」として認定し、「エコシップマーク」の使用を認め、海上輸送モーダルシフトを促進。**

### ○認定基準

原則100km以上の航路（沖縄、離島、青函航路を除く）において、

- ・海上貨物輸送量（トンキロ）20%以上を利用した者
- ・前年度に比べ、海上貨物輸送量（トンキロ）のシェアが10%以上改善した者
- ・海上貨物輸送を利用してCO2排出量を10%以上削減した者

(R7年度認定事業者 47社)  
・荷主 24社（累計213社）  
・物流事業者 23社（累計235社）

(エコシップマーク使用例)



エコシップマーク (<http://www.ecoship.jp/>)



## 優良事業者表彰制度

エコシップマーク認定事業者の中から、**海上輸送へのモーダルシフトに特に貢献したと認められる荷主・物流事業者**に海事局長表彰を実施。

### ○優良事業者表彰基準

- ・海上貨物輸送量（トンキロ）50%以上を利用した者
- ・海上貨物輸送を利用してCO2排出量を15%以上削減した者

(R7年度表彰事業者 46社)  
・荷主 24社（累計202社）  
・物流事業者 22社（累計216社）

## 海運モーダルシフト大賞（令和元年度創設）

従来の優良事業者表彰は定量的な基準を満たした事業者を全て表彰している中（毎年約20～30社、多い年で約50社）、従来の優良事業者表彰が浸透していることを踏まえ、モーダルシフトの一層の推進のため、**革新的な取組などにより最も貢献度が高かったと認められる事業者**を1社ないし数社選定し、「海運モーダルシフト大賞」として表彰する。

### ○従来の優良事業者表彰基準に加え、以下のような定性的な基準を加える。

#### ①「革新性」

（競合会社同士の混載輸送、船舶による新たな貨物品目輸送、新たな荷主・物流事業者の組み合わせ、等）

#### ②「継続性」

継続的に取組を行っている事業者

(R7年度大賞受賞者 4社)

- ・荷主「日本製紙クレシア(株)」、「(株)ロッテ」
- ・物流事業者「(株)ロジネットジャパン西日本」、「(株)曙運輸」

### 1. 海運モーダルシフト大賞 (2件4社)

**受賞者** (荷主) 日本製紙クレシア株式会社  
(物流事業者) 株式会社ロジネットジャパン西日本

**取組概要**

- 「物流の2024年問題」への対応等の観点から、日本製紙クレシア(株)は、(株)ロジネットジャパン西日本と連携して、宮城県石巻市から関西地区までの「家庭紙」輸送について、パレットの2段積載を可能とした事で、約14.3%の積載効率向上を実現し、フェリー(仙台港～名古屋港：太平洋フェリー(株))を利用した海上輸送を継続的に実施。
- 主要輸送品目が軽量な家庭紙である事から、積載効率の最大化を目的として、内寸高さ2,620mmを確保できる40フィート背高コンテナシャーシを採用。通常の国内ウイングシャーシでは4段積みと3段積みの2種類が必要となるパレタイズを、製品高さと同車内寸に基づき「4段積み×2段」の1種類に統一し、積付け手順の標準化と作業負荷の軽減を図ることが可能となった。さらに、1車36パレットの固定ロット化により、出荷計画および在庫管理の安定化を実現。

**受賞者** (荷主) 株式会社ロッテ  
(物流事業者) 株式会社曙運輸

**取組概要**

- 現在でも珍しい『電源使用の無人トラック』を乗船させるというスタイルを2007年から確立。
- 有明港～博多港において海上輸送を継続的に活用。2007年から2024年までは上下それぞれ1日1台の乗船のみだったが、2024年7月からは、1日3台ずつと大幅に乗船台数の増加を図った。
- 輸送時に発生するCO2だけでなく、船内電源を活用することで、冷凍機から発生するCO2の削減にも貢献。車両の延命化だけでなく、冷凍機の発電機の稼働時間軽減にも繋がり、SDGsになっている。
- 輸送効率を高めるために低床の10トン車を導入するとともに、シートパレットも採用。庫内を最大限に活用することで、1運行あたりの輸送量を最大化し、製品1つあたりのCO2排出量を最小限になるよう積極的に工夫している。



## 2. 優良事業者受賞 (22件42社)

番号	荷主	主要輸送品目	物流事業者	航路	取組概要
1	サンヨー食品 販売株式会社	インスタント 食品		大洗港～ 苫小牧港	サンヨー食品販売株式会社は群馬県前橋市から北海道札幌市白石区までのインスタント食品の輸送について、フェリー（株式会社商船三井さんふらわあ）を利用した海上輸送を実施。
2	株式会社蒼天	ミネラル ウォーター		大洗港～ 苫小牧港	株式会社蒼天は山梨県南都留郡山中湖村から北海道旭川市までのミネラルウォーターの輸送について、フェリー（株式会社商船三井さんふらわあ）を利用した海上輸送を実施。
3	株式会社 ファーマイン ド	青果物	全日本ライ ン株式会社 札幌支店	大洗港～ 苫小牧港	株式会社ファーマインドは東京都江東区から北海道札幌市東区までの青果物の輸送について、全日本ライン株式会社と連携してフェリー（株式会社商船三井さんふらわあ）を利用した海上輸送を実施。
4	興人フィルム &ケミカルズ 株式会社八代 工場	フィルム	有限会社八 代運送	別府港～ 大阪港	興人フィルム&ケミカルズ株式会社は熊本県八代市から茨城県古河市までのフィルムの輸送について、有限会社八代運送と連携してフェリー（株式会社商船三井さんふらわあ）を利用した海上輸送を実施。
5	ダイキン工業 株式会社 滋 賀製作所	空調機器 (パッケージ エアコン)	トランコム 株式会社 物流情報 サービスグ ループ 大阪 エリア大阪 情報セン ター	大阪港～ 別府港	ダイキン工業株式会社は滋賀県草津市から福岡県小郡市までビル用、設備用のパッケージエアコンをメインとした空調製品の輸送について、トランコム株式会社と連携してフェリー（株式会社商船三井さんふらわあ）を利用した海上輸送を実施。
6	株式会社ラオ フインターナ ショナル	繊維くず	宮崎幸和運 輸有限会社	志布志港 ～大阪港	株式会社ラオフインターナショナルは宮崎県北諸県郡三股町から大阪府泉南市までの繊維くずの輸送について、宮崎幸和運輸有限会社と連携してフェリー（株式会社商船三井さんふらわあ）を利用した海上輸送を実施。

## 2. 優良事業者受賞 (22件42社)

番号	荷主	主要輸送品目	物流事業者	航路	取組概要
7	東洋冷蔵株式会社 経営企画部	冷凍魚(主にカツオ)	東洋冷蔵 フード&ロジスティクス株式会社 ロジスティクス事業部 営業課	志布志港 ～大阪港	東洋冷蔵株式会社は鹿児島県枕崎市から大阪府泉佐野市までの冷凍魚(主にカツオ)の輸送について、東洋冷蔵フード&ロジスティクス株式会社と連携してフェリー(株式会社商船三井さんふらわあ)を利用した海上輸送を実施。
8	丸全昭和運輸株式会社 関西支店 レゾナック龍野出張所	業務用ボンド(化学製品)	株式会社マテリアルデポット	大分港～ 神戸港	丸全昭和運輸株式会社は大分県大分市から兵庫県たつの市までの業務用ボンド(化学製品)の輸送について、株式会社マテリアルデポットと連携してフェリー(株式会社商船三井さんふらわあ)を利用した海上輸送を実施。
9	フジクラ物流株式会社 九州支店	電線ケーブル	九州バイパス運輸株式会社	大分港～ 神戸港	フジクラ物流株式会社は大分県大分市から兵庫県西宮市までの電線ケーブルの輸送について、九州バイパス運輸株式会社と連携してフェリー(株式会社商船三井さんふらわあ)を利用した海上輸送を実施。
10	株式会社協和	卵	豊後通運株式会社	別府港～ 大阪港	株式会社協和は大分県速見郡日出町から大阪府大阪市までの卵の輸送について、豊後通運株式会社と連携してフェリー(株式会社商船三井さんふらわあ)を利用した海上輸送を実施。
11	J Pロジスティクス株式会社	一般雑貨	J Pロジスティクス株式会社	横須賀港 ～新門司港	J Pロジスティクス株式会社は不特定多数の企業の貨物を1台のトラックにまとめて積載する「特定積み合わせ貨物事業」というサービスを提供しており、同社自身が複数企業から荷物を預かる「荷主」という立場も有し、神奈川県相模原市から熊本県上益城郡までの一般雑貨の輸送について、フェリー(東京九州フェリー株式会社)を利用した海上輸送を実施。

## 2. 優良事業者受賞 (22件42社)

番号	荷主	主要輸送品目	物流事業者	航路	取組概要
12	森永乳業株式会社 西日本乳センター	乳製品	阪神トランスポート株式会社	横須賀港～新門司港	森永乳業株式会社は東京都東大和市から熊本県熊本市までの乳製品の輸送について、阪神トランスポート株式会社と連携してフェリー(東京九州フェリー株式会社)を利用しての海上輸送を実施。
13	菅公学生服株式会社 都城口ジセンター	学生服	株式会社新生運輸	新門司港～横須賀港	菅公学生服株式会社は宮崎県都城市から群馬県前橋市までの学生服の輸送について、株式会社新生運輸と連携してフェリー(東京九州フェリー株式会社)を利用しての海上輸送を実施。
14	日本冶金工業株式会社 川崎製造所	ステンレス	株式会社サンキュウ・トランスポート・東京	横須賀港～新門司港	日本冶金工業株式会社は神奈川県川崎市から福岡県糟屋郡までのステンレスの輸送について、株式会社サンキュウ・トランスポート・東京と連携してフェリー(東京九州フェリー株式会社)を利用しての海上輸送を実施。
15	株式会社梅里物流サービス九州営業所	一般雑貨	株式会社梅里物流サービス九州営業所	新門司港～横須賀港	株式会社梅里物流サービスは不特定多数の企業の貨物を1台のトラックにまとめて積載する「特定積み合わせ貨物事業」というサービスを提供しており、同社自身が複数企業から荷物を預かる「荷主」という立場も有し、佐賀県三養基郡から茨城県土浦市までの一般雑貨の輸送について、フェリー(東京九州フェリー株式会社)を利用しての海上輸送を実施。
16	アルマティス株式会社	アルミナ	佐川急便株式会社 岩国営業所	新門司港～横須賀港	アルマティス株式会社は山口県岩国市から千葉県木更津市までのアルミナの輸送について、佐川急便株式会社と連携してフェリー(東京九州フェリー株式会社)を利用しての海上輸送を実施。

2. 優良事業者受賞 (22件42社)

番号	荷主	主要輸送品目	物流事業者	航路	取組概要
17	株式会社 KOKUSAI ELECTRIC 富 山事業所	半導体製造装 置	ロジス ティード中 部株式会社 八尾営業所 株式会社新 陸運輸	泉大津港 ～新門司 港	株式会社KOKUSAI ELECTRICは富山県富山市から山口県下関市 までの半導体製造装置の輸送について、ロジスティード中部株式 会社及び株式会社新陸運輸と連携してフェリー（阪九フェリー株 式会社）を利用しての海上輸送を実施。
18	ヤクルトロジ スティクス株 式会社	乳製品	幸運トラッ ク株式会社	新門司港 ～大阪南 港	ヤクルトロジスティクス株式会社は福岡県筑紫野市から大阪府茨 木市までの乳製品の輸送について、幸運トラック株式会社と連携 してフェリー（株式会社名門大洋フェリー）を利用しての海上輸 送を実施。
19	MEC Industry 株式会社	建築用木材	鈴与株式会 社 運輸事 業部	大分港～ 東京港	従来は大型車による陸上輸送を行っていたが大分～東京航路を使 用したRORO船輸送モーダルシフトした。令和6年7月以降、本区 間に関してRORO船輸送に切り替えを行い、海上輸送使用率は 100%となり、CO2排出量を約196t、前年比で65.6%削減した。
20	チタン工業株 式会社	酸化鉄	鈴与株式会 社 運輸事 業部	苅田港～ 東京港	従来は大型車による陸上輸送を行っていたが苅田～東京航路を使 用したRORO船輸送モーダルシフトした。令和5年1月より本区 間を試験的にRORO船輸送に切り替えた。令和5年4月以降、本区 間に関しては全量RORO船輸送に切り替えを行い、海上輸送使用率 は100%となり、CO2排出量を約67t、前年比で66.2%削減した。
21	島村楽器株式 会社	楽器	ホットライ ンミュ ジック株式 会社 三菱商事ロ ジスティク ス株式会社	博多港～ 東京港	中国から輸入してきた楽器を一旦、福岡に納品、その後関東圏の 物流拠点である千葉県市川市のロジスティクスセンターへ輸送し ている。この日本国内輸送の際、博多港から東京有明港まで乗船 している。全物量の7割程度をモーダルシフトすることに成功し、 シフト後は国内輸送距離の約98%を海上輸送にて輸送しているこ とになる。その結果、54%程度のCO2排出量が削減されている。

## 2. 優良事業者受賞 (22件42社)

番号	荷主	主要輸送品目	物流事業者	航路	取組概要
22	カゴメ株式会社	飲料	F-LINE株式会社 常温本部 栃木県北通運株式会社	千葉港～ 大阪港	環境変化を踏まえ、幹線輸送の持続性の為に複線化や環境への取組みを目的として、海上輸送の取組みを2022年ごろから強化。これまで1日1台あった無人トラック輸送を増やし、2024年度は、那須工場から大阪の在庫拠点への輸送重量の約半分を海上輸送が占めるまで至った。現在も推進中である。